



土橋富美子副院長のインタビュー記事が

zakzak by タカ7ジ

に掲載されました!



【ブラックジャックを探せ】

2020.1.10



話を聞くだけでも緩和… あらゆる「痛み」に対応

日本を代表する温泉観光地・熱海。その繁華街の中心に、昨年9月にオープンした、「どばし泌尿器科クリニック」。

泌尿器科とペインクリニックを標榜する、全国的にも珍しいクリニックで、ペインクリニックを担当するのが副院長の土橋富美子医師だ。

ペインクリニックとは、「痛みを取り除く診療科」のこと。痛みを引き起こす病気や部位に関係なく「痛み」という現象に対してアプローチをしていく、診療科横断型の医療だ。腰痛や肩こり、膝の痛みなど運動器の痛みはもちろん、带状疱疹などの神経の痛みや頭痛、さらには慢性疼痛やがん性疼痛なども診療対象。昨年末にフリーアナウンサーの八木亜希子さん（54）が「線維筋痛症」であることを公表したが、こうした高度に専門性の高い疾患もペインクリニックのテリトリーとなる。

「痛みの感じ方は人それぞれ。精神的な要因も絡んできますので…。いちおうの数値化による判定法はありますが、一番大切なのは、患者さんの話をよく聞くこと。『お医者さんに話を聞いてもらえた』というだけで痛みが和らいでいくことも珍しくありません」

丁寧な傾聴に加えて、投薬や理学療法、神経ブロック注射など、あらゆる治療法の中からその患者に適した治療を選んでいく。

「痛みというのは生活の質に直結する問題なので、治療に対する患者さんの期待も大きい。それだけに効果が得られたときの患者さんの喜ぶ表情を見ると、『この仕事に就いてよかった』としみじみ思えるんです」

静岡県熱海市を中心としたエリアで、ペインクリニック専門の診療所は他にない。しかも、土橋医師の診療所は「クリニックビル」の中にあるので、さまざまな診療科と連携した治療ができる。

痛みを取る専門医が地域にいる—という情報を持つておくこと。それだけでも、得られる安心感は大きいはずだ。（長田昭二）

■土橋富美子（どばし・ふみこ） 1977年、静岡県沼津市生まれ。2001年、日本大学医学部卒業。同大医学部附属板橋病院、駿河台日本大学病院（現・日本大学病院）、横浜市立大学附属病院、藤沢湘南大病院、済生会横浜南部病院、神奈川県立こども医療センターを経て、11年、国際医療福祉大学熱海病院麻酔科講師。19年から現職。日本麻酔科学会認定専門医、日本ペインクリニック学会認定ペインクリニック専門医。趣味はゴルフと子育て。